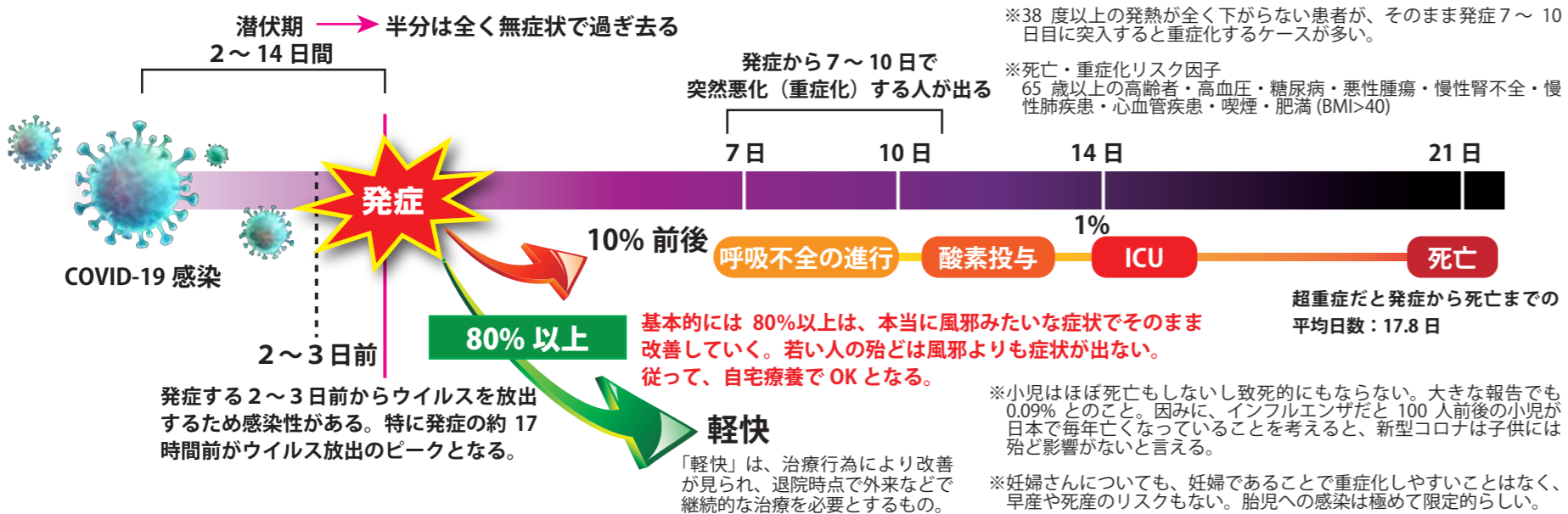


Keyword : CIAMS (シャムズ)

弊社の収益源となるイベントや展示会が中止や延期される中、どうしても話題と言えば新型コロナウイルスになってしまう昨今です。先の見えない状況の中、暗いニュースに過度に感化されたり不安になったりと、精神状態が穏やかでない方もいらっしゃると思います。キーワードにした「CIAMS」とは、COVID-19 / Coronavirus-Induced Altered Mental Statusのことを指します。簡単に言うと、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、環境の変化に適応できず、精神状態が知らず知らずのうちに変わってしまっている現象のことです。具体的には、突然ハイになったり、不安を口にするようになったり、暴言を吐くようになったり、感情的になったり、相手の行動を逐一批判するようになったりと、普段と明らかに行動に変化があり周囲がそれに気づくくらいであれば、それがまさに CIAMS の症状というわけです。それを回避するには、病気のことを不安に思うばかりではなく、今どうなっているのかを正しく知って、自分がどうすべきかを積極的に考えていく必要があります。そこで、この数ヶ月で分かって来たコロナウイルス感染症の進行について、簡単にまとめてみました。



新型コロナウイルスの対応を巡っては、各国の施策は様々で、ドイツやニュージーランド、韓国、台湾など、新型コロナウイルスの封じ込めに成功した国や地域では、いずれもトップのリーダーシップが高く評価されています。日本も、一時は「ジャパンミラクル」と言われるほど日本流の対策が成功したかのように見えた状況でしたが、ここへ来て、また感染者が増え続けています。4～6月期の国内総生産(GDP)成長率は戦後最悪の落ち込みとなり、これ以上、感染拡大を防ぐための緊急事態宣言は、よほどのことが無い限り出せない状況にあります。元々、緊急事態宣言を出す基準として国民に示されたものではないので、「よほどのこと」が、どの程度の基準になるのかは全く不明です。そういう点では、各国が感染拡大を続ける中、100日連続で市中感染ゼロを達成させたニュージーランドのジャシンダ・アーダーン(Jacinda Ardern)首相の判断は素晴らしいものがあります。記録更新直後に、再び新規感染者4人が見つかり、オークランドでは再びロックダウン(都市封鎖)が実施されました。経済よりも人命を優先する分かりやすい政策と、さらにその基準も国民にはしっかり示されており(左下表)、非常にわかりやすく安心感があります。日本と比べると人口も1/25であり、簡単に真似をすることは出来ないとはいませんが、有識者にばかり責任を押し付けず、しっかりとリーダーシップを取ることを日本も見習ってほしいものです。

ニュージーランド 新型コロナウイルス 警戒レベルの概要

警戒レベル	リスク	対応
レベル4 (都市封鎖)	最も高い	厳格なロックダウンを実施
レベル3 (制限)	高い	大規模な集まりを禁止
レベル2 (縮小)	中程度	大規模な集まりを制限
レベル1 (準備)	低い	通常の生活に戻る

3つの「シャムズ」を避けましょう!

1. 換気の悪い密閉空間 (X)

2. 多数が集まる密集場所 (X)

3. 身近で会話や発声を伴う密接場面 (X)

※3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

Avoid the Three Cs

1. Crowded places (多くの人が集まる場所)

2. Close contact settings (密接した状況)

3. Confined and enclosed spaces (密閉・換気不良の空間)

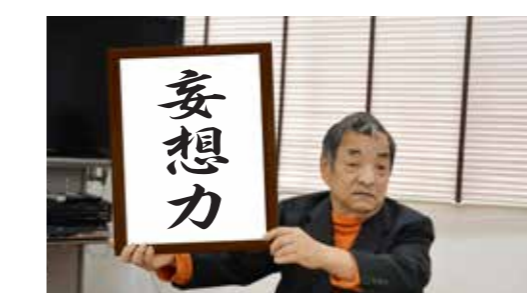
※The risk is higher in places where these factors overlap.

唯一、安倍政権が評価されるとすると、3月に総理官邸公式Twitterで呼びかけた、「3密」の注意喚起くらいであろう。いろいろと問題を抱えている、あのWHOも、これを真似て7月に「3Cs(3つのC)回避」を呼びかけるメッセージを発信している(右側)。最近では、集近閉(しゅうきんぺい)という標語もSNS上にて広まりつつある。コロナの発生源とされている中国の中国共産党総書記の習近平をもじったもので、避けるべきことである、集(集まる)・近(近距離)・閉(密閉)の意味が込められている。誰が考えたか知らないが、ナイス!

2020 vol.097 Legend

檜垣俊幸がモノ申す! ⑮

生き地獄より生き天国



ゼネラルプロデューサー 檜垣 俊幸

暴走する妄想力

コロナ禍のおかげで、一人で思考に耽る時間が多くなると、元から旺盛な妄想力が際限なく増幅されます。

私は、脳梗塞になって入院して、今は年寄りばかりの医療施設にいますが、つくづく、「色味」がないと感じています。職員の制服は黒または白を基調としたシックな色合いで、高級感がありますが、まるでモノクロ映画のように味気ない。エンターテインメントを極めた私としては、もっとパッと明るくカラフルなイメージが欲しいところです。

増幅された妄想力で考えたことは、病院やこういった施設に、「見た目がカラフルで明るい若い人」を投入できないだろうか? ということです。「見た目がカラフルで明るい若い人」というのは、例えば、キャバ嬢やホスト、メイド喫茶などの接客業の方々。さらに、某浦安方面にあるという夢の国の住人やコスプレイヤーといった人たちに働いてもらうのはどうかということです。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためという理由で利用自粛を促され、特に「接待を伴う飲食業」が窮地に陥っています。また、イベント自粛で活躍の場を奪われている夢の国の住人やコスプレイヤーしかり。しかも、彼ら彼女らは接待のプロフェッショナルであり、老若男女を楽しませる娯楽の達人たちなのです。そういう方々にこそ、病院や施設で医療行為以外のお仕事をやっていただけないものかと考えたわけです。

病院や施設のフロントに厳(いかめ)しい黒服や消毒薬臭そうな白衣よりも華やかなイメージの人に迎えられたいと願うのは私だけでしょうか。車椅子を押してもらうにしても「ご気分はいかがですか? ご主人様」とメイド服の可愛い娘にやってもらいたいものです。

彼ら彼女たちがそういった施設で働く姿を妄想、いや、想像してみてください。きっと毎日が永遠に続くアトラクションのよう楽しく療



モデル: Kate Paola / Height:176cm B:75 W:59 H:87
事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌

養でできるに違いありません。もしかしたら恋愛脳が刺激されて持病が快復するかもしれません。

キャバ嬢やホストの方々にはお世話をお願いするとしても、基本的に「色気」がないのは当たり前です。でも、それがわかっているから、「本当にそれでいいのかわからないか?」といった制御がかかるのです。人間の思考回路というのは、そのようになっているのです。

そして、自分の中の自分をどのような人格にするのかということが大切なことで、それはある意味、哲学なのです。

自分に優しい自分を作ることも大事かもしれない。自分に心強いアドバイスをくれる自分を作ることも大事かもしれない。それが哲学であり、スケベな私としては、もう1人の自分が「そんなこと考えていいのかわからないか?」とたしなめる。スケベなことが良いか悪いかはわかっていないけど、妄想の暴走を止められない自分がある。でも、その「やめる」「やめない」が自己哲学なのです。

「楽しく快適な環境」こそが大切

私は「どうしたら病気が治るのか」ということを真剣に何度も何度も考えました。私の中にいる神に語りかけました。神1、神2という何人も神様がもう1人の自分と同じように私の中にいて、いろいろ相談をします。それが「神の世界」です。私の中の神は、「楽しく快適な環境」こそが大切だといつも答えています。神の世界だから好きな答えを得ることができるのです。ただし、これができるようになるためには、自分が自分に問いただすことができるようなところまで持っていけないといけません。

自分に「お前はどうか?」「お前は本当はどう思っているんだ?」と、もう1人の自分を持つことがいかに大事かということ。当然、自分に対しての答えだから、都合の良い答えです。でも、それがわかっているから、「本当にそれでいいのかわからないか?」といった制御がかかるのです。人間の思考回路というのは、そのようになっているのです。

そして、自分の中の自分をどのような人格にするのかということが大切なことで、それはある意味、哲学なのです。

自分に優しい自分を作ることも大事かもしれない。自分に心強いアドバイスをくれる自分を作ることも大事かもしれない。それが哲学であり、スケベな私としては、もう1人の自分が「そんなこと考えていいのかわからないか?」とたしなめる。スケベなことが良いか悪いかはわかっていないけど、妄想の暴走を止められない自分がある。でも、その「やめる」「やめない」が自己哲学なのです。

いずれは死ぬのだから、いかに満たされた気持ちでナチュラルに死ねるかということをお願いする。皆が皆そうではありませんが、病院や施設にいる多くの年寄りは、死を受け入れながら暮らしています。死んで極楽に行くよりもせめて生きてうちに天国のような「楽しく快適な環境」を味あわせてあげたいものです。

(次号へ続く)

取材・文/河野 崇 撮影/編集部

T O M O K O ' S R E C O M M E N D

厳しい残暑が続きますが、へばっていませんか。秋が早く来て欲しい。秋限定のアイスだけが心の拠り所です。へばりまくっている私が聞いている涼しい音楽をご紹介します。Washed Out の『Purple Noon』です。Washed Out はチルウェイヴ(音楽のジャンル)の一つ。チープな打ち込みをバックにノスタルジックなメロディを乗せ、アンビエントの要素をブレンドした強烈なレイドバック感のあるシンセポップを展開する)の開祖。アトランタをベースに活動するプロデューサー / ソングライター / マルチインストゥルメンタリスト、Ernest Greene のプロジェクト。今作は Sub Pop 復帰作となる4枚目のアルバムで、再び全てを自らが書き、レコーディングし、プロデュースした作品。ルネ・クレマンの映画からタイトルを引用し、地中海の海岸線にインスピレーションを受けたといいます。チルウェイヴ 2000年代後半から流行りましたね。落ち着いているのにゆったりと踊れるのが今の季節の方から夜の時間に聞くのにぴったり合います。これまでよりも洗練されたメロディを中心に据えて展開されており、テンポはよりスローでビートは大胆で深さを感じさせる作品。私のお気に入り M9. 「Hide」は、エモーショナルでロマンティックで涼しげで大好きです。これを聞いて残暑を乗り切りましょう◎

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行: 株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4 www.adproject.co.jp

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

皆様の いいね! をお待ちしております。
facebook adproject 検索
もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

取材・文/河野 崇 撮影/編集部



秋葉 悠介

■Title：LINE で簡単予約 オンライン受付システム

Project 1.

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的な感染拡大の影響を受け、人が集まるイベントは少しずつ解禁されつつありますが、ニューノーマル時代を見据えた新しい動きも増えつつある中、ユーザーの来店や来場も明確な管理が必要になってきました。そこで今回ご紹介するのは、LINE上で完結できる来店&来店管理システムです。これにより、スタッフとお客様のwith/after コロナ状況下でのソーシャルディスタンスの確保に對し対策を行ってまいります。

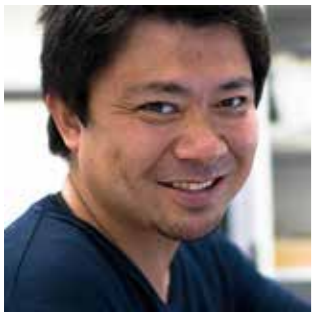
LINE を活用して、来店/来場の申込みから店舗/会場での人数管理を行うことが可能です。

- 簡単受付** 事前にLINEアカウントへの友達追加を完了させることで、30秒もかからず受付完了。
- 来店/来場リマインド** 来店/来場の前日にリマインドメッセージ配信が可能です。
- 来店/来場時の簡単受付** 来店/来場時にQRコードの読み取りだけで受付が完了いたします。
- 来店者のリアルタイム計測** 専用の管理画面よりリアルタイムで何名が店舗/会場にいるか把握することが可能です。

BASIC PERFORMANCE

- 【予約受付】 会場 / 店舗内での予約を行うことが可能です。管理画面よりいつの予約を行うかを設定できます。
- 【当日整理券機能】 会場 / 店舗内の人が多くなった際に整理券を発行することが可能です。会場 / 店舗内の人の数が増えるのを制御することができます。
- 【検温機能】 イベント当日に LINE 上で検温結果を送ってもらい、イベントに参加できるか事前に確認をとることが可能です。
- 【コロナアラート機能】 来場者の中で発症者が出た際にその時間帯に来場していた人たちに一斉メッセージを送ることが可能です。

例年、多くのイベントに参加させていただいておりましたがコロナの影響により一変して多くのイベントを奪われました。少しずつ、イベントの開催も回復しつつありますが、来場者の皆様が安心してまたイベントを楽しんでいただけるよう努めてまいります。



PRODUCER：須田 潤一

■Title：バーチャルスタジオ：SAMO WORLD
～リアルとアンリアル融合イベントの新しい形～

Project 3.

お疲れ様です。
コロナ渦で、未だ先が見えませんが、立ち止まるわけにもいかず、仲間の照明さんとバーチャルスタジオを作成しました。通常、バーチャルスタジオの映像(動画系)ソフトが主体になると思うのですが、我々の3D照明シミュレーターを使用したバーチャルスタジオです。
一番の特徴は、照明の再現性です。これは、どのバーチャルスタジオよりも優位な特性になります。映像ソースは複数取り込むことができ、クロマキーをバックに仮想空間に登場させたり、ZOOMなどを使ったLIVE動画をスクリーンに投影したりすることが可能です。また、バーチャル空間ならではの、プレゼンスライドを透過で投影したり、スクリーンアクションも可能です。社員総会、アワード、セミナー、舞台、記者発表など様々なシーンで展開が可能です。何か、気になることがあれば是非ご連絡ください。
下のURLもしくはQRコードから、デモ映像をご覧ください！

SAMO world 前半 <https://youtu.be/v26E8KXN3vE> SAMO world 後半 02 https://youtu.be/dz_VSWIBdP0



前半



後半



What News
東京都北区飛鳥山博物館 in コロナ禍
EXECUTIVE PRODUCER：平田 元春

Producer's column

今年は、コロナ渦で2月の後半から3/4/5/6/7月と予定していた仕事が無くなってしまいました。3月から5月中旬までの北区飛鳥山博物館の「飛鳥山・吉宗から300年」の展示も延期になり、やっと6月から8月末日までの開催に変更になりましたが、その間に博物館からごまごまとした入札のないものを提案し製作物を数件積み重ねて無事に8月30日千秋楽となりました。続けて、9月12日から10月中旬までの「人間国宝・奥山峰石と北区の工芸作家展」の制作展示です。今年で10年以上続けています。まだまだこれからで、何か探しながら提案して行こう。さあ、来年に向けて動かない！でも、コロナが心配！……と言うより営業しよう。

人間国宝・奥山峰石作は、あわあさがおもんかき接ぎ合せ朝顔文花器 ※接ぎ合せとは？ ペースの音等の絵柄と同じに切抜き、別素材で制作した同じ形のものをおめこんでいく。勿論、隙間は無い。水も漏れません。

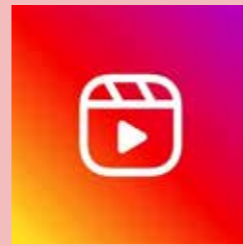
2020年開催ポスター



Instagramのリールって

PRESIDENT：檜垣 俊吾

Instagram が 2 年ぶりに新機能を発表した。それが【Reels リール】ですが、8 月 5 日から始まった新サービスで、最大 15 秒の短尺動画を配信できる機能。Instagram 上で簡単に編集でき、tiktok の対抗機能として注目というか、A の国が C の国との政治的対立の激化に巻き込まれた tiktok から代替えさせるのが目的だろう。既にインスタにはストーリーという機能があり、ストーリーは 24 時間で消えますが、新機能リールはストーリーのように 24 時間で消えないというだけで、機能的にはかなり被っている機能。この adtain が発行されている頃には、アメリカで tiktok が使えなくなっているか、アメリカ企業に売却させている結果が出ていると思いますが、いづれにしても、このリールは間に合わせて立ち上げた機能である感じが完成度の甘さからスゴく感じる。インターフェイスに関しては、改善の余地が多く残っており、まだ成長過程で明らかに tiktok に劣っているが、唯一、音楽の著作権に関してはグレーな部分が多い tiktok と違って、リールは大手レーベルの音楽を著作権の心配なく、ライブラリーから選んで使える。また、フェードで公開するだけでなく、限定公開やダイレクトメッセージとして限られたユーザーと共有できる点など、進化している点も多少あるため、今後ユーザーによって育てられる機能なのかもしれない。



ぜったいに行かない？！
「秋元の思いつき旅」
第4プロジェクト 秋元隼人

残暑厳しい、今日この頃、皆様はどうお過ごしでしょうか？汗かいてますか？先日、撮影で宮城県は仙台市に伺いました。このシリーズでは初めての、県外バージョン、お送りさせていただきます。早速ですが～「秋元の思いつき旅」第6回目の今日のお題は、仙台と言えば、牛タン！そうです。牛タン食べました！！仙台駅東口にあります。牛タン焼専門店「司」に行ってきました。外からでも分かる、炭火焼きの匂い～♪幸せ～！！早速、お店に入りましょう。アルコール消毒に入店時の検温、空気の入替えのため、入口は開放されています。安心して、食事が出来る環境づくり。素晴らしい！牛タンは、もちろんうまいっす！ウマウマの旨でした。ごはんの量は「普通盛り」米よりもタンで腹を満たしたい！そんな年頃です。クライアントさんが、初めての仙台とのことで、食事にも満足いただいた、そんな9月の撮影でした。撮影は？もちろんスムーズに終了しました。さあ！帰りましょう！東京に！あっ！？デザート「ずんだ餅」買わなきゃ！忘れずに～！



土井 晃範

■Title：エンタメの力

Project 2.

『木下大サーカス』懐かしくないですか、この響き。

自宅の近くに「木下大サーカス」がやってきたので、先日家族3人で観に行ってきました。私がまだ物心付く前に家族みんなで行ったことがありましたが、それ以来一度も足を運ぶ機会がなく、職業柄から楽しめるのかなと思いつも行ってみました。

結論から言うと、あっという間の2時間。娘とともに前のめりになって興奮している自分がいて、会場を後にした時の充実した感覚は久々のものでした。コロナ禍において非常に厳しいエンタメの世界ではありますが、改めてエンタメの力強さと人間にとって必要不可欠な要素だと感じさせられる瞬間でした。【病は気から】という昔からの言い伝えがあるように、心の豊かさは今の状況においても大事ですね。

そんな中、10月14日(水)から世界遺産「古都京都の文化財」を構成する代表的文化財である元離宮二条城にて「アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～」がスタートすることが発表されました！

今回のアートアクアリウム城では、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、長期間に渡って外出を控えておられる方々に安らぎを感じていただくとともに、世界遺産である二条城の歴史・文化やアートを体感し、明日の活力としていただきたい、という想いがあるようで、非常に意味あるスポットになると思います。

皆様もお近くにいらした際は足を運んでみてはいかがでしょうか。

「アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～」公式サイト <https://artaquarium.jp/branch/kyoto>



PRODUCER：岩下 信而

■Theme：みんなと会いたい、話したい
■Date：2020年9月
■Place：東京

Project 4.

リモートやオンラインによる仕事はいかがですか。ぼくは、従来ならお互いの出張の折にしか会えない方々や、複数の時間調整が困難な(本来それをまとめるのが弊社のスキルなんだけどね)際のコミュニケーションには重宝しているが、一番つらいのは相手の瞳の奥を覗けないこと、だってみんなカメラ目線なんだもん。やはり直接、眼差しや表情はもとより、書類をめくる速度や、予算表を読む際の仕草、あるいは国会議員みたいに携帯で動物の映像ばかり見ているのかなど、そのプロジェクトのポテンシャルやキーパーソンを見定めたい。また新しいジャケットやネクタイ、シューズやバッグなどの話題から旧交を深めたり、急に親しくなったり、リモートでは起こりえないエピソードやハプニングを楽しみたい。そもそもぼくのプロジェクトのプランの85%は、コースターや箸袋、紙ナフキン(ユーミンかつ)のメモ書きから生まれているのです、そのところ、どこか察してほしい！それにしてもエンタメ業界は深刻。いまだリモートやオンラインを余儀なくされている。

可能な限り最良な環境の音響、照明、映像による生配信や、遠隔ながらもデジタル操作によるハイレベルな演奏などの努力には本当に頭が下がるけど、やはり生演奏の魅力に抗いがたい。たとえば後ノリ。サクソフ奏者のデクスター・ゴードンが典型的、4拍子を正確に刻むのではなく曲の主旋律に、ほんの少し遅れてからんでくる奏法などはデジタル操作では奏することはできません。正反対のチャーリー・パーカーのような前のりや、あるいは日本の都都逸や端唄といった俗曲の間合い(ノリやタメ)も、これまた生演奏ならではの魅力、おとこの話題は果てしなくなるからまた別の機会に。「時を戻そう」秋の夜長のPrime Video 三味もいけれど、音楽で過ごすのも趣があるかも。リモートとライブ、オンラインとオフライン、その時の環境によって選択の自由を楽しめる日常を早く取り戻したいですね。今月から大阪方面に出張解禁！早く全国の皆さんとゆっくりお会いしてお話したいです。では次号、Ciao！



ぼくの好きな1枚



聞きやすい1枚